

## 青森・岩手県境不法投棄現場環境再生・提案書

団体名等	株式会社アイ・シー・エフ		
代表者	小倉 義昭	担当者	小倉 義昭
所在地	岩手県八幡平市		

① 提案のテーマ：自然との共生			
キーワード	自然と森	水と空気	バクテリアとの共生
<p style="margin-left: 20px;">テーマ選定の目的・理由</p> <p>産業廃棄物、特に石油化学や高分子化学でつくられたものは自然浄化が難しい。ただ、私達の生活には、そういう製品が氾濫している。それを産業廃棄物として処理するには、ルールを守ることが絶対条件である。</p> <p>今回の不法投棄は、地球の長い歴史と私達の先人が基づいてきた自然との共生に対する挑戦である。</p> <p>跡地には、太陽が海水を蒸発させ、雨となり、森を育て、生物を育て、川となり、また海にもどるサイクルと微生物の働きもコンパクトに見える場所にして、過去を反省するものとしたい。</p>			
<p>②提案の概要</p> <p>跡地の全面積を森林公園とする。(参考：ドイツのシュバイツバルト)</p> <p>但し、原則として、建物、案内版、舗装道路はつ造らない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然界の水の浄化システムを全面積を使って再現する。</li> <li>・一部に青森県、岩手県の農畜産物の見本園（実際の営農現場）をつくる。</li> </ul> <p>(参考：オランダのキーケンホフ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境と森、空気、水、川と海、バクテリアの働きなどを子供達に学ばせる。</li> </ul> <p>全体の仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高地に牧場、鶏舎、豚舎→糞尿→堆肥→瓦礫層→清水</li> <li>・全体は牧歌的風景</li> </ul>			
<p>③実施主体（提携、協力主体を含む）</p> <p>事業主体は第3セクター or NPO（寄付金を受取れる所）</p> <p>主体設立までは行政がリードする。設立後の経営は人材を公募する。</p>			

#### ④概算事業費（可能であれば記入）

用地取得費を0とした場合

① 管理道路 1. 2億円（6 m×2 km 土工事とさい石のみ）

② 森林全体のビオトープ 1億円

③植栽 1億円（100万円/1本×50本=5,000万円 1万円/1本×5,000本=5,000万円  
で基本となる森づくり

③ 予備費 1. 8億円

合計 5億円

#### ⑤期待される効果

①森を造る手法を示すことで、全国にある荒地を自然状態に回復させる道が生まれるかもしれない（例として明治神宮）。

②青森の気候風土に合った農業（にんにくなど）、牧場（牛と羊、やぎなど）を自然条件で遊牧することで、日本人の食文化の食の見本園として農業を産業として振興させる。

③小中学生の遠足、修学旅行を呼び込めるようにして、子供達が産業廃棄物と地球の自然浄化を学び、ゼロエミッション集落や循環農業に理解を持たせる。そこに少しでもゴミのない生活と地球環境を良くする運動に結ぶ。

#### ⑥その他、特記事項

プロジェクトの進行手法として、行政と民間の役割分担をはっきりさせる。

例えば計画案も事業費も現場で働く人がつくり、行政は制度資金の活用、土地利用の許可のお手伝いをする。

現場にはりついて夢を実行する人を見つけること。